

平成 21 年 2 月

田頭由紀子 学位論文審査要旨

主 査 汐 田 剛 史
副主査 神 崎 晋
同 原 田 省

主論文

Interleukin-10 attenuates TNF- α -induced interleukin-6 production in endometriotic stromal cells

(子宮内膜症間質細胞におけるIL-10によるTNF- α 誘導性IL-6産生の抑制)

(著者：田頭由紀子、谷口文紀、原田省、池田綾子、渡邊彩子、寺川直樹)

平成21年 Fertility and Sterility 掲載予定

審査結果の要旨

本研究は子宮内膜症間質細胞を用いて、抗炎症性サイトカインであるIL-10がTNF- α によって誘導されるIL-6産生に及ぼす影響とその細胞内シグナル伝達について検討した論文である。子宮内膜症細胞ではIL-10の発現が減弱していることを示した。また、IL-10がJAK/STAT3を活性化した後、主要な細胞内シグナル経路を介してTNF- α によるIL-6産生を抑制することを明らかにした。これはIL-10が子宮内膜症の病態形成において重要な役割を果たしていることを示唆するものである。本研究は新知見に富むものであり、その成果は生殖内分泌学研究に貢献するとともに、学術の水準を高めたものと認める。